

◎ 議会報告会・意見交換会参加者アンケート結果

◆議会報告会・意見交換会実施状況

実施日	H29.5.15	H29.5.16	H29.5.16	H29.5.17	H29.5.17	H29.5.18	H29.5.18	H29.8.4	計
実施地区	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	
参加人数計	27	23	23	28	35	22	20	17	195
男	25	22	22	25	33	17	17	12	173
女	2	1	1	3	2	5	3	5	22
回答者数	25	21	20	25	27	20	18	15	171
回答率	92.6%	91.3%	87.0%	89.3%	77.1%	90.9%	90.0%	88.2%	
									回答率 87.7%

◆アンケート結果

1 あなたの性別をお答えください。

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
男	22	20	20	22	26	15	15	11	151	88.3%
女	3	1	0	3	1	5	3	4	20	11.7%
未記入										0.0%
計	25	21	20	25	27	20	18	15	171	100.0%

2 あなたの年齢をお答えください。

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
10代										0.0%
20代										0.0%
30代			1	1		1		1	4	2.3%
40代	1			3		1		1	6	3.5%
50代	1		4	7	5	7		1	25	14.6%
60代	19	14	13	11	21	7	5	7	97	56.7%
70代	4	6	2	3	1	3	11	4	34	19.9%
80代以上		1				1	1	1	4	2.3%
不明・未記入							1		1	0.6%
計	25	21	20	25	27	20	18	15	171	100.0%

3 開催曜日や時刻についてどう思われますか

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
良い	19	20	17	21	27	19	13	10	146	89.0%
変えたほうが良い	5		2	4		1	3	3	18	11.0%
計	24	20	19	25	27	20	16	13	164	100.0%

・曜日

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
平日	1					1	1	1	4	28.6%
土・日曜日	3		1	3			2	1	10	71.4%
計	4	0	1	3	0	1	3	2	14	100.0%

・時刻

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
19:00～(現行)	1		1	1					3	23.1%
10:00～12:00				1			1		2	15.4%
13:00～18:00	3		1	1		1		2	8	61.5%
20:00～									0	0.0%
計	4	0	2	3	0	1	1	2	13	100.0%

4 議会報告会での内容についてどう思われますか。

①議会の概要

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
必要	13	9	12	12	19	12	7	8	92	53.8%
内容を検討	8	7	7	8	6	6	7	4	53	31.0%
無くてもよい	2	2		3			2	2	11	6.4%
未記入	2	3	1	2	2	2	2	1	15	8.8%
計	25	21	20	25	27	20	18	15	171	100.0%

②27・28年度の活動報告

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
良い	6	2	6	9	10	6	5	2	46	26.9%
まあ良い	14	12	10	11	12	8	7	6	80	46.8%
内容を検討	2	2	3	3	4	2	3	5	24	14.0%
無くてよい									0	0.0%
未記入	3	5	1	2	1	4	3	2	21	12.3%
計	25	21	20	25	27	20	18	15	171	100.0%

③聞きたい内容はありますか。(自由意見)

会場	自由意見
南押原	地元要望。(特に藤江町～磯町間の黒川・新田橋の進捗状況)
	高校生に意見を聞いて、何か変わったか。
	地域活性化のために市街地調整区域の線引き見直しを希望する。少子化解消や定住地の拡大を図り、若者が住みよいまちづくりを推進してほしい。
板荷	鳥獣害対策。
	人口減対策に議会は具体的対策にどのような内容で推進しているのか。
栗野	今後の議会の改革を各種調整を聞きたい。
	インフラ。
加蘇	防災。人口問題。
	議員定数。議会の進め方等。
	日常生活に向けたインフラ整備について。特に「水道」整備の見込み。
東部台	意見を言いたくても、特定の人がたくさん発言していた。指名しても良いのでは。
	中期ビジョン。
加蘇	太陽光。獣害。全域の地理を深めること。
	防災対策の見直しを願う。

5 意見交換会の内容についてはどうでしたか。

	南押原	北部	板荷	東大芦	栗野	加蘇	東部台	粕尾	計	割合
良い	4	3	7	6	5	3	2	1	31	18.1%
まあ良い	7	7	9	7	15	7	7	8	67	39.2%
テーマが必要	4	3	2	1	1	2	3	4	20	11.7%
ふつう	5	4		4	3	2	4	2	24	14.0%
悪い									0	0.0%
不明・未記入	5	4	2	7	3	6	2		29	17.0%
計	25	21	20	25	27	20	18	15	171	100.0%

・どのようなテーマがいいですか。

会場	自由意見
南押原	各地区ごとの意見が必要。
	参加して良かった。地元について。(上下水道導入等)
	議会で出来ることにしぼった方がよい。
	少子高齢化。
北部	新庁舎。
	旧市街地の活性化。
	地域に関する内容。
	高齢者対策。
板荷	議会が実施して効果が上がったことをアピールすべき。毎年同じ内容で変化がない。
	防災。
	これからのまちづくり。
	市民自治、地域の維持と将来像。
栗野	個々のテーマをしぼってほしい。(あまりにも幅が広すぎる)
	テーマはなくてフリーで良い。
	農林業の進むべき道は。人口が増す産業の立地、働く所。
加蘇	人口問題。
東部台	意見交換会は事前に意見を出してもらえれば市民のことがやすいと思う。
	新庁舎の場所は現在の場所で決定か聞きたい。
	子育て支援の内容。高齢化問題について。
	地域に合った話をした方が良いと思う。
粕尾	要望の上位いくつかをピックアップして意見交換をしたい。会議をYOUTUBEで見られるなら、これはざっくりで終わりでもいい。
	地域での課題。
	フリートーク。
	議会基本条例の理解(この報告会開催趣旨の)。市町合併後の意見(合併効果の是非)。

6 防災についてご意見等ございましたら、ご記入ください。

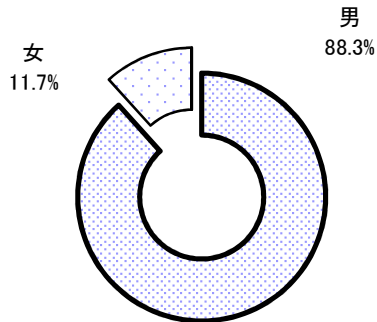
会場	自由意見
南押原	防災の日に全自治会を動員して、総合防災訓練をする。
	特に黒川（河川）の崩壊しそうな場所。消防団員の増員。
	天災なら、どこまで人間が出来るかわからない。
北部	災害の予防を考えた方が良い。
	有事の際の対策は考えているのか。
	黒川の川底の砂を撤去。
	河川の土砂がたまり、水深が浅くなってきた。
板荷	大水の時、後日見舞金をいただいたが、当の大水の時に老人家庭に何らかの言葉くらいはほしい。
	土石流危険場所の水路の改良が必要。
	防災訓練を市が主導して行うべき。自主的に各地区でやれと言ってもやれていない。
	辺釣工事は一日も早く。引田一柿沢トンネルが開通すると交通量増大→危険増。
東大芦	災害の起きそうなところは未然に整備する方策をしてほしい。
	市民共助のしくみと外部よりボランティアの受け入れ方法。
	マニュアルが必要。そのマニュアルが周知され、いざという時に動ける訓練が必要。
	災害時、消防団の人数が足りない時、OBの協力が保たれるようなシステムを作っておくと良いのでは。
	人数に対しての収容数の検討はされているか。
栗野	大雨災害の未復旧の箇所が多数残っているが、目途はどうか。
	通信手段の確保。電源の確保状況は、サーバーの設置場所は安全か。BCPプログラムの災害本部立ち上げまでのタイムスケジュールは出来ているのか、その後の体制は。
	防災無線施設の設置を願う。
	Jアラートに対してどのように対応を考えているか、市民に示してほしい。
	核シェルターも必要になる。
	BCP策定については、先行自治体の例を参考にする等して早急の実施してほしい。
加蘇	消防車の出動、救急車の出動について、県道まで出るのが大変。そこで出動を知らせるものを県道に設置してほしい。（サイレン等を県道へ出るまではならさなくて良い約束のため）
	なかなか具体化は難しいと思うがよろしく。
	費用がかかるが防災無線の検討。
	厳しい景気で防災のハード整備はなかなか出来ないなら、ソフト面でのあり方また対策など。
	加蘇地区全体が携帯が使える地域にしてほしい。＝ 防災の一つ。
	ケーブルテレビで情報伝達はいい。
	人を呼び込む石裂・寄栗を活用してきているが、スマートフォンが通じない。滑落でケガをして命にかかわる時でも民家まで戻って救助を呼ぶことになっているのが現状。
	地区の防災用品の充実。
	地域防災マネージャーという言葉も知らなかった。
	自宅裏の沢が土砂崩れしているので、小型でもいいので砂防ダムがほしい。
地域防災力の強化が必要。自治会、消防、民協等の連携の支援。	
例年に比べ参加者が少なく残念。	
小学生、中学生を巻き込んで防災を検討。	
災害復興のNPO法人に所属している。2年前の豪雨災害の時に鹿沼市のボランティアセンターの立ち上げが遅かった。災害後すぐに常総市長より直接依頼を受け、常総復興の第1目標として小・中学校、幼稚園の復興再開をするということで、市長・教育長・市議が一体となっていた。結果、災害後10日後に市内8校の復興が教職員とボランティアの手だけで復興再開がされた。その後、鹿沼市内で活動をした。	
東部台	東部台地区の狭あい道路の解消を。
	防災用の備品（アルファ米、簡易トイレ他）は自治会の会費で購入しているが市からの補助金があれば有り難い。
	防災機器及び備品を各地内に最低限必要なものを支給するようにしてほしい。
	備蓄品の配備について、現在の箇所数では足りない。東部台地区にもほしい。
粕尾	現在ある公園や新設による防災公園の整備を推進してほしい。
	BCPの推進。病院、銀行、警察、行政を確実に短期復旧を願う。
	どこで、どのような災害が起きているか誰もが知っているわけではないので、周知してほしい（過去の例も含めて。対策等）。
粕尾	都市部と山間部では、対応策が変わってくる。災害では専門的な知識が必要になってくる。橋などの老朽化への対応（地震）。特に道路、河川などの危険箇所の氾濫のため、市内業者との連携はできるのか。
	松崎の山が昨年崩れている。
	土石流の監視のための防犯カメラの設置増設を願う。

7 意見・感想などございましたら、ご記入ください。

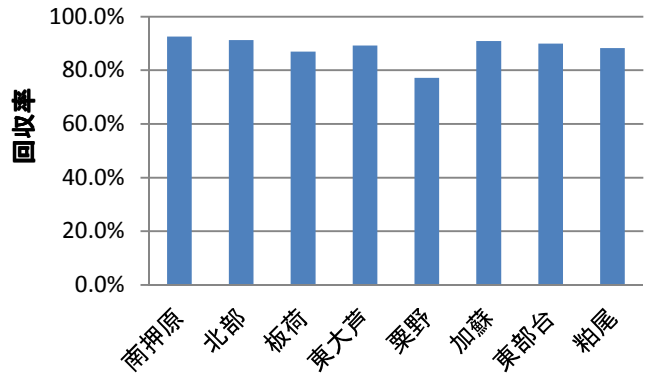
会場	自由意見
南押原	定例会の議案数に対し、議員案数が少ない気がする。もっと議員の自覚がほしい。
	費用弁償の宿泊料の定額支給と食事費支給は時代錯誤。宿泊料は実費支給、食事費は廃止。
	政務活動費の執行率は全県・全国的にどんなレベルか。平成27年度以降、世論が厳しくなり最近減ったのか。
	費用弁償と年額旅費（支度料？）おかしい。
	議員も請願・陳情処理件数等で査定し報酬で高低をつける。
	道路が悪いと学生の意見があったようだが、市議会議員選挙の時だけまわらず、普通の日にも各地区をまわってほしい。
	議員の議会開会中以外の政務活動内容を公開してほしい。例として〇〇地区で市民から要望をきいたなど。
	最初に予定時間を言ってからやってほしい。
	市役所職員の削減と給与等年収の見直し、最低10%減を望む。一般民間との年収格差が非常に大きい。待遇が良過ぎる。 南押原地区の現状と危機意識を持っているのかが不明。
北部	空き家対策（活用）。
	議員定数改正の質問に対し、各議員の意見が聞けないのは残念。
	財政が厳しいとは思いますが、もう少しお金を使って鹿沼市を活性化させてほしい。
	市議会議員は鹿沼市全体を考えて行動、地域一部ではないことを再認識してほしい。
	市民代表のため、鹿沼市に一生懸命だとは思いますが市民に届くように。 個人では行きづらいので、議会見学会を地区ごとにどうか。議会報告会にあまりに出席が少ないのにびっくり。議会に関心がないようだ。忘れられているのでは。
板荷	辺釣は最優先に取り組んでもらいたい。
	意見交換良かった。
	すごくわかりやすい説明で良かったが、何も発言しない人もいたのでどうかと思う。
	毎年、意見交換会を行ってほしい。
	議員の意見に対する回答・対応が良かった。
	意見交換の時間がもっと必要。 新庁舎設計段階において、ガラス張り等のところに階段等がある場合は女性に配慮してほしい。 このような機会を増やしてほしい。
東大芦	酒野谷の高齢者福祉センターに若者が参加できるようにならないか。名前も健康センターとかにしてみんな利用できるようにしたい。温泉の利用者も少なくもったいない。
	防災の課題に対する対策はいつまでに行うのか。また、台風の季節がくるので、すでに行ったこととこれから行うことの文章が混在しているので気になる。
	米の価格が低い。農家が減る一方である。
	高齢者が免許証を返上して病院へ行けず、タクシーを毎日使用できない時手助けをお願いしたい。 BCPプログラムはこれから作成では遅い。東日本大震災後に何をしてきたのか。水害発生でやっと動き始めた。
粟野	全国有数の生産をほこる麻をPRしてはどうか。
	テーマを小さくして、いつまでも長く続けて下さい。
	将来直面する福祉関係の話題をもっと多く話が聞きたかった。
加蘇	地域の防災力の強化を含め、良い検討及び協議をしてください。
	せめて石裂のハイキングコースでスマートフォンが伝えるようにしてほしい。
	雪害で山が大変荒れている。見てほしい。
	議員に接する機会があって身近に感じて良かった。何かと大変だがよろしくお願ひしたい。
	議会内容は、議会だよりに詳しく書いてあるので「課題1」ごとに参加できる時間があると良かった。ただ、普段から良く考えていないと意見や考えがまとまらない。
	頑張ってください。 実際に災害復興に活動した行政に研修に行ったらよい。ボランティアの活用を有効に。栃木県内ではすぐに動き始められない状況。
東部台	市民への周知を徹底して下さい。
	傍聴席の椅子と間隔が狭く傍聴者が聞く環境にない。質問してもその後のフォローや進捗状況が市民にわかりづらい。
	環境部門での6次産業化の推進協議会で、農業従事者の支援を図るとあるが、農業従事者ばかりでなく6次産業に関わり協同で推進していく方法もあると思う。
	頑張ってください。 質問者の声が聞き取りにくかった。
粕尾	発言、質問ができて良かった。回答は、YES or NO、その理由を教えてくれるとわかりやすい。そして具体的な対応策。
	高齢化対策。車の事故防止として、自動ブレーキシステムの導入補助などの対策など。山間部での公共交通の増加などは無理なので鹿沼市でも検討を（豊田市などで導入している）。

議会報告会・意見交換会アンケート集計概要

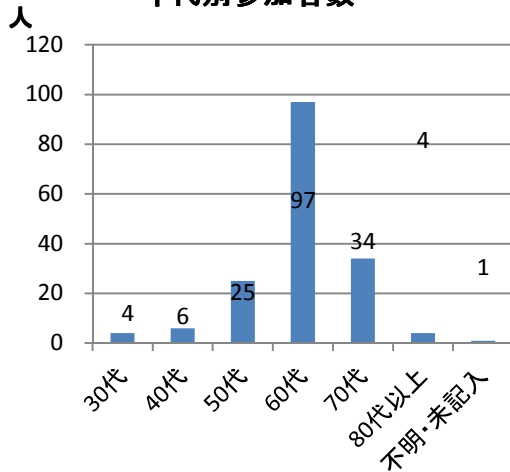
参加者の性別



アンケート回収状況



年代別参加者数

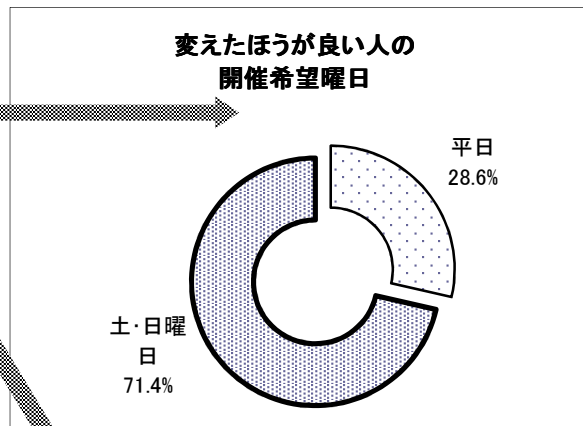
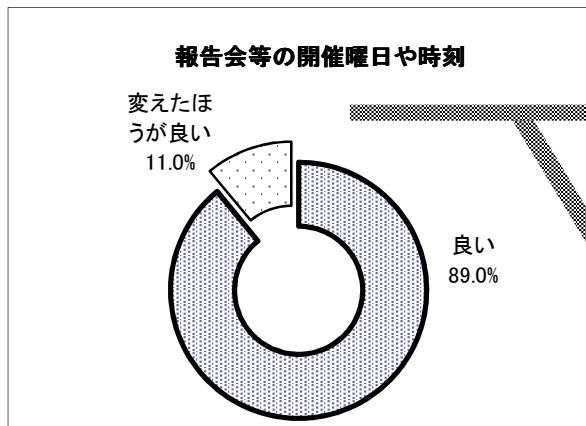


参考資料：平成25・26年度開催の議会報告会との比較

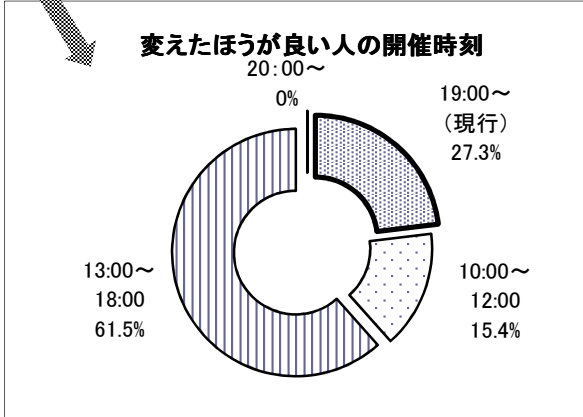
25年度（8地区）		人数
参加者数		215人
平均参加者数		約27人/会場
26年度（9地区）		人数
参加者数		431人
平均参加者数		約48人/会場
28年度（9地区）		人数
参加者数		321人
平均参加者数		約36人/会場
29年度（8地区）		人数
参加者数		195人
平均参加者数		約24人/会場

平成25・26年度に行った議会報告会・意見交換会の参加者は17地区で646人で、地区平均は40.4人で、今年度は8地区で開催し参加者195人、平成28・29年度では参加者は17地区で516人で、1地区平均約30.4人で、前回の約80%となっています。

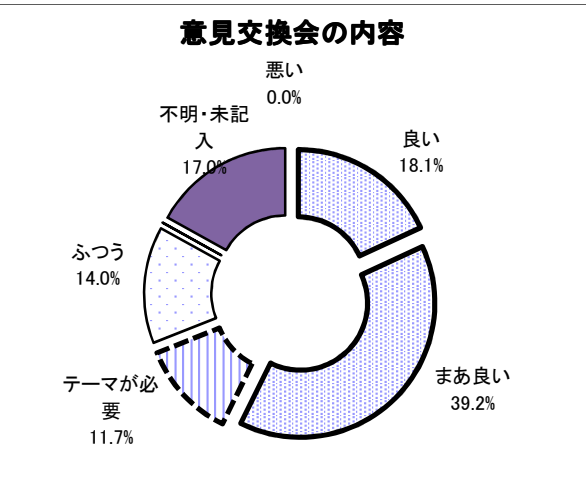
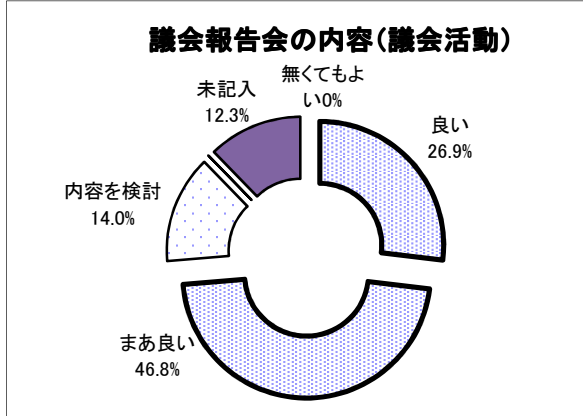
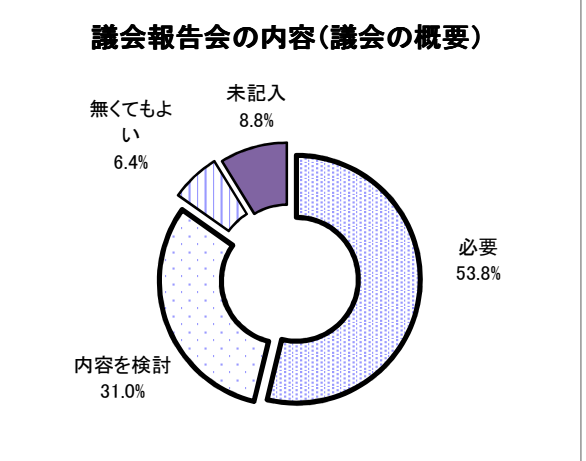
平成29年度の8地区でアンケートに回答いただいた171人（回答率87.7%）では、参加者の年齢は、60代が97人（56.7%）と最も多く、50代以上の年齢層が160人（93.6%）を占めています。



議会報告会・意見交換会の日程については、約89%の方が現状どおりの開催でよいとの回答でした。開催時期の見直しを希望する11%の内訳では、曜日については71%が土・日曜日の開催を希望し、開催時間は13時～18時の時間帯の意見が約62%でした。開催時間については、午後6時からという意見もありました。



議会報告会の内容については、議会の概要については約54%の方が必要と答えている一方で、約31%の方から内容を検討すべき、約6%の方が無くてもよいとの意見が出ています。また、議会活動は約74%の方が良い、まあ良いと回答しています。意見交換会は約57%の人から、概ね評価されています。



- #### 自由意見
- 議会報告の内容について(聞きたい内容)
 - ・地元の要望に対する取り組み
 - ・高校生との意見交換会による変化
 - ・今後の議会の改革
 - ・議員定数。議会の進め方等。
 - 意見交換会について(テーマ)
 - ・少子高齢化
 - ・新庁舎
 - ・地域の内容
 - 防災についての意見
 - ・地域防災力の強化
 - ・地区へ防災用品の充実
 - ・避難訓練の実施やBCP計画の策定
 - ・防災無線の検討
 - 全体への意見
 - ・議員の議会開会中以外の政務活動内容を公開してほしい。
 - ・将来直面する福祉関係の話題をもっと多く話が聞きたかった。